



まず合理化精神の昂揚が大事

日鐵鑛業株式會社

社長 森 田 惠 三 郎

資源の乏しい人口過剰な我國において、その乏しい資源を如何に合理的に開發し利用するかは我々經營者、特に鑛山經營者に課せられた一番大きな問題といわねばならない。

然し乍ら戦後の占領期間中はあらゆる面での制約が多く、經營者としてなさねばならぬ資本の蓄積はおろか、經營費を賄うことすら困難な時代があつた。我々としては、所謂講和後最初の新年においては、眞剣に經營の合理化をとり上げて行かねばならないと思う。

經營の合理化は單に機械設備の近代化、新技術の導入の面のみでなく科學的管理方式の採用、組織の合理化等にまで及ばねばならぬが、その根底をなすものは、従業員の合理化精神の昂揚であつて、それが經營作業のあらゆる末端にまでにじみ出て始めて合理化そのものも地についたものとなるのである。能率の向上によるコストの切下げ、これによる對外競争力の強化、資本の蓄積による新規開發への準備並びに不況時における耐久力の強靱化、これらは基礎産業として是非ともやらねばならぬことであつて、これにより始めて、日本經濟の基盤の脆弱性もある程度救われるのであり、基礎産業の中でも鑛山業者としては、是非とも合理化のバイオニヤーとして先驅して行かねばならないし、あらゆる束縛から解放された今年こそは、その最も適當なる時期と思うのである。

日本鑛業協會誌(第六卷 第二號)

二月號目次

(卷頭言)

★まず合理化精神の昂揚が大事……森田惠三郎……一

☆鑛業資源の開發と輸送の問題……桑原彌壽雄……二

☆品質管理の本質……平塚実……七

☆秋季攻勢の結末と批判……五十嵐昭夫……一四

☆銅、鉛、亜鉛地金七月〜九月間に於ける需給概況について……調査部金屬課……一七

(協會賞論文)

☆粉鑛處理完全廢止による全粉鑛直接裝入熔鑛爐製鍊について(承前)……伊藤 寿夫……二七

▼月間の動き………三〇

▼責任と權限の原理………三六

▼協會だより………三九

▼ニュース………四〇

▼資料………四二

〔表紙寫眞〕 豊羽鉾山石山選鉾場